



安全データシート

Copyright, 2015, 3M Company

All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	06-7865-6	版	7.00
発行日	2015/05/13	前発行日	2013/05/06

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

スコッチ 用途別接着剤 皮革用 6025N

3M スtockナンバー

FS-9100-1418-2 FS-9100-1419-0 FS-9100-2405-8

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コンシューマー・オフィスマーケット技術部
電話番号	042-779-2173

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体：区分1

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：区分2A

特定標的臓器毒性、単回暴露（気道）：区分3

水生環境有害性（急性）：区分2

水生環境有害性（長期間）：区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

炎 感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H224	極めて引火性の高い液体及び蒸気。
H319	強い眼刺激。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H401	水生生物に有毒。
H412	長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

安全対策

P210	熱／火花／裸火／高温物体のような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P233	容器を密閉しておくこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外して、洗浄を続けること。
P370 + P378G	火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
-------------	-----------------------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
アセトン	67-64-1	60 - 70
合成ゴム	9003-18-3	10 - 20
フェノール樹脂	55185-45-0	5 - 10
フェノールホルムアルデヒド樹脂	25085-50-1	5 - 10
サリチル酸	69-72-7	1 - 5

酸化亜鉛	1314-13-2	1 - 5
フェノール	108-95-2	0.1 - 1.0
0-クレゾール	95-48-7	0.1 - 1
ホルムアルデヒド	50-00-0	0.01 - 0.1

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：可燃性液体および可燃性固体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

特有の危険有害性

火災の熱で密封している容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐため使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。－ 禁煙。

火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気での場所を換気する。

大量にこぼれた場合、あるいは区切られた場所でこぼれた場合は、粉塵、蒸気の強制換気を行う。

警告！モーターは着火源になる－モーターは漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気に燃焼させ、爆発させる可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

大量の場合には、下水設備に入るのを防止する為に下水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 水性膜泡消火剤で漏洩箇所を覆う。

ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。

吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。

出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。

責任者が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気と換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従うこと。 容器を密封する。 回収した物質はできるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

密閉された、換気の良くない場所で使用しないこと。 子供の手の届かないところに置くこと。

安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。

熱/火花/裸火/高温の物体などの着火源から遠ざけること。 - 禁煙。

火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後は手指をよく洗うこと。

環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。 指定された個人保護具を使用する。

着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電气的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。

輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。

酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
フェノール	108-95-2	ACGIH	TWA : 5ppm	A4 : 発がん性物質として分類できない物質、経皮吸収性
フェノール	108-95-2	JSOH OELs	TWA (8時間) : 19 mg/m3 (5 ppm)	経皮吸収による健康影響
酸化亜鉛	1314-13-2	ACGIH	TWA (呼吸性分画) : 2	

			mg/m ³ 、STEL (呼吸性分画) : 10mg/m ³	
酸化亜鉛	1314-13-2	JSOH OELs	TWA (呼吸性ダストとして) (8時間) : 1 mg/m ³ 、TWA (総ダストとして) (8時間) : 4mg/m ³ 、限界値は確立されていない。	
ホルムアルデヒド	50-00-0	ISHL	TLV (8時間) : 0.1 ppm	
ホルムアルデヒド	50-00-0	JSOH OELs	TWA (8時間) : 0.12 mg/m ³ (0.1 ppm) ; CEIL : 0.24 mg/m ³ (0.2 ppm)	呼吸器感作性のおそれ。2A : 発がん性のおそれ。皮膚感作性が確認された物質。
ホルムアルデヒド	50-00-0	ACGIH	CEIL : 0.3 ppm	A2 : ヒトに対して発がん性が疑われる物質。感作性。
アセトン	67-64-1	ACGIH	TWA : 500ppm、STEL : 750ppm	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない
アセトン	67-64-1	ISHL	TLV (8時間) : 500 ppm	
アセトン	67-64-1	JSOH OELs	TWA (8時間) : 470 mg/m ³ (200 ppm)	
クレゾール (オルト、メタ、パラ)	95-48-7	ISHL	TLV (8時間) : 5 ppm	
クレゾール (オルト、メタ、パラ)	95-48-7	JSOH OELs	TWA (8時間) : 2.2 mg/m ³ (5ppm)	経皮吸収による健康影響
0-クレゾール	95-48-7	ACGIH	TWA (吸入分画と蒸気) : 20 mg/m ³	A4 : 発がん性物質として分類できない物質、経皮吸収性

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた目・顔の保護具を選択・使用する。下記の日・顔の保護具を推奨します。

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質： ブチルゴム

呼吸用保護具

ばく露状況を評価し、必要と判断される場合には吸入防止装置の一部として、以下の呼吸保護具の中から選択する。

有機ガス及び微粒子に適している半面形あるいは全面形送気マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
形状、色、臭い	クリーム色、フェノール臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	適用しない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	-15 °C
蒸発速度	データはない。
引火性（固体、ガス）	適用しない。
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度	データはない。
比重	0.88 [参照基準：水=1]
溶解度	データはない。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度	3.07 Pa·s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	60 - 70 %
有機溶剤を含まない水と規制除外の溶剤（JIS -GHSの要求項目ではない）	データはない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

未確定

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素
シアン化水素
窒素酸化物

条件

特段の規定はない。
特段の規定はない。
特段の規定はない。
特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。

また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

激しい眼への刺激：症状には発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害を含むことがある。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：症状/兆候には局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥を含む。

皮膚の過敏なひとに非光誘導性アレルギー性皮膚反応を起こす可能性がある（症状は発赤、腫脹、水疱形成、かゆみを含むことがある）。

吸入した場合

気道刺激：症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みを含むことがある。

以下に記載のその他健康影響情報の症状を起こす可能性がある。

飲み込んだ場合

胃腸管組織が刺激される可能性がある（症状は腹痛、むかつき、吐き気、嘔吐、下痢を含むことがある）。

以下に記載のその他健康影響情報の症状を起こす可能性がある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経の抑制：徴候・症状は頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失を含む。

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害を引き起こす可能性のある化学物質または化学物質の混合物を含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
アセトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,688 mg/kg
アセトン	吸入-蒸気 (4時間)	ラット	LC50 76 mg/l
アセトン	経口摂取	ラット	LD50 5,800 mg/kg
合成ゴム	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,000 mg/kg
合成ゴム	経口摂取	ラット	LD50 > 30,000 mg/kg
フェノールホルムアルデヒド樹脂	経口摂取	ラット	LD50 5,660 mg/kg
フェノール樹脂	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
サリチル酸	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
サリチル酸	経口摂取	ラット	LD50 891 mg/kg
酸化亜鉛	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化亜鉛	吸入-粉塵/ ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 5.7 mg/l
酸化亜鉛	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
フェノール	吸入-蒸気		LC50 推定値 2 - 10 mg/l
フェノール	皮膚	ラット	LD50 670 mg/kg
フェノール	経口摂取	ラット	LD50 340 mg/kg
0-クレゾール	皮膚	ウサギ	LD50 890 mg/kg
0-クレゾール	吸入-蒸気 (4時間)	ラット	LC50 > 24.5 mg/l
0-クレゾール	経口摂取	ラット	LD50 121 mg/kg
ホルムアルデヒド	皮膚	ウサギ	LD50 270 mg/kg
ホルムアルデヒド	吸入-ガス (4時間)	ラット	LC50 470 ppm
ホルムアルデヒド	経口摂取	ラット	LD50 800 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アセトン	マウス	わずかな刺激
合成ゴム	専門家による判断	刺激性なし
サリチル酸	ウサギ	刺激性なし
酸化亜鉛	ヒト及び動物	刺激性なし
フェノール	ラット	腐食性
ホルムアルデヒド	公的な分類	腐食性

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アセトン	ウサギ	激しい刺激
合成ゴム	専門家による判断	刺激性なし
サリチル酸	ウサギ	腐食性
酸化亜鉛	ウサギ	軽度の刺激
フェノール	ウサギ	腐食性
ホルムアルデヒド	公的な分類	腐食性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
フェノールホルムアルデヒド樹脂	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
サリチル酸	マウス	感作性なし
酸化亜鉛	モルモット	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	モルモット	感作性なし
ホルムアルデヒド	モルモット	感作性あり

光感作性

名称	生物種	値又は判定結果
サリチル酸	マウス	感作性なし

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ホルムアルデヒド	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
アセトン	In vivo	変異原性なし
アセトン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
サリチル酸	In vitro	変異原性なし
サリチル酸	In vivo	変異原性なし
酸化亜鉛	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化亜鉛	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホルムアルデヒド	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホルムアルデヒド	In vivo	変異原性

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
アセトン	特段の規定はない。	多種類の動物種	発がん性なし
フェノール	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノール	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホルムアルデヒド	特段の	ヒト及び	発がん性

	規定はない。	動物	
--	--------	----	--

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アセトン	経口摂取	雌性生殖毒性なし	マウス	NOAEL 11,298 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	雄生殖影響のデータは存在するが、分類するには不十分	ラット	NOAEL 1,700 mg/kg/day	13 週
アセトン	吸入した場合	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 5.2 mg/l	器官発生期
サリチル酸	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 75 mg/kg/day	器官発生期
酸化亜鉛	経口摂取	繁殖・発生毒性に関する陽性データが見られるが、分類するには不十分	多種類の動物種	NOAEL 125 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
フェノール	経口摂取	雌性生殖機能への影響を示すデータはあるが、分類するには不十分	ラット	NOAEL 321 mg/kg/day	2 世代
フェノール	経口摂取	雄生殖影響のデータは存在するが、分類するには不十分	ラット	NOAEL 321 mg/kg/day	2 世代
フェノール	経口摂取	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	器官発生期
ホルムアルデヒド	経口摂取	雄生殖影響のデータは存在するが、分類するには不十分	ラット	NOAEL 100 mg/kg	適用しない。
ホルムアルデヒド	吸入した場合	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 10 ppm	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アセトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
アセトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
アセトン	吸入した場合	免疫システム	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 1.19 mg/l	6 時間
アセトン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	モルモット	NOAEL 非該当	
アセトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
フェノール	皮膚	造血システム	臓器への影響	ラット	LOAEL 108 mg/kg	非該当
フェノール	皮膚	心臓 神経系 腎臓および膀胱	臓器への影響	ラット	LOAEL 107 mg/kg	24 時間
フェノール	皮膚	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	非該当
フェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	非該当
フェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	臓器への影響	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	適用しない。
フェノール	経口摂取	呼吸器系	臓器への影響	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時

スコッチ 用途別接着剤 皮革用 6025N

フェノール	経口摂取	内分泌系 肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 224 mg/kg	適用しない。
フェノール	経口摂取	心臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	中毒ないし乱用時
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器系	臓器への影響	ラット	LOAEL 128 ppm	6 時間
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アセトン	皮膚	眼	陽性データはあるが、分類には不十分。	モルモット	NOAEL 非該当	3 週
アセトン	吸入した場合	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 3 mg/l	6 週
アセトン	吸入した場合	免疫システム	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 1.19 mg/l	6 日
アセトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	モルモット	NOAEL 119 mg/l	非該当
アセトン	吸入した場合	心臓 肝臓	全て陰性	ラット	NOAEL 45 mg/l	8 週
アセトン	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	心臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 3,896 mg/kg/day	14 日
アセトン	経口摂取	眼	全て陰性	ラット	NOAEL 3,400 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	呼吸器系	全て陰性	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
アセトン	経口摂取	筋肉	全て陰性	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg	13 週
アセトン	経口摂取	皮膚 骨、歯、爪及び/又は毛髪	全て陰性	マウス	NOAEL 11,298 mg/kg/day	13 週
サリチル酸	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	3 日
酸化亜鉛	経口摂取	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/day	10 日
酸化亜鉛	経口摂取	内分泌系 造血器系 腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	その他	NOAEL 500 mg/kg/day	6 月
フェノール	皮膚	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ウサギ	LOAEL 260 mg/kg/day	18 日
フェノール	吸入した場合	心臓 肝臓 腎臓および膀胱 呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	モルモット	LOAEL 0.1 mg/l	41 日
フェノール	吸入した場合	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	多種類の動物種	LOAEL 0.1 mg/l	14 日
フェノール	吸入した場合	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
フェノール	吸入した場合	免疫システム	全て陰性	ラット	NOAEL 0.1 mg/l	2 週
フェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 12 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	造血器系	長期あるいは反復ばく露によ	マウス	LOAEL 1.8	28 日

スコッチ 用途別接着剤 皮革用 6025N

			り組織に悪影響を及ぼす。		mg/kg/day	
フェノール	経口摂取	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 308 mg/kg/day	13 週
フェノール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 40 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 40 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	免疫システム	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1.8 mg/kg/day	28 日
フェノール	経口摂取	内分泌系	全て陰性	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	14 日
フェノール	経口摂取	皮膚 骨、歯、爪及び/又は毛髪	全て陰性	多種類の動物種	NOAEL 1,204 mg/kg/day	103 週
ホルムアルデヒド	皮膚	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 80 mg/kg/day	60 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.3 ppm	28 月
ホルムアルデヒド	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 20 ppm	13 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 15 ppm	3 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 10 ppm	13 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	内分泌系 免疫システム 筋肉 腎臓および膀胱	全て陰性	ラット	NOAEL 15 ppm	28 月
ホルムアルデヒド	吸入した場合	眼 脈管系	全て陰性	ラット	NOAEL 14.3 ppm	2 年
ホルムアルデヒド	吸入した場合	心臓	全て陰性	マウス	NOAEL 14.3 ppm	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	免疫システム	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 20 mg/kg/day	4 週
ホルムアルデヒド	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 15 mg/kg/day	24 月
ホルムアルデヒド	経口摂取	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 109 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	心臓 内分泌系 造血器系 呼吸器系 脈管系	全て陰性	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	皮膚 筋肉 眼	全て陰性	ラット	NOAEL 109 mg/kg/day	2 年

吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことが

あります。

セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生毒性（慢性）

GHS水生環境有害性（長期間）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
フェノールホルムアルデヒド樹脂	25085-50-1		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
サリチル酸	69-72-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	870 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	緑藻類	実験	96 時間	EC50	65 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	ニジマス	実験	96 時間	LC50	8.4 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	9.5 mg/l
0-クレゾール	95-48-7	藻類	実験	96 時間	影響濃度0%	40 mg/l
アセトン	67-64-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	13,500 mg/l
アセトン	67-64-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	5,540 mg/l
アセトン	67-64-1	ミジンコ	実験	21 日	有効濃度は観察されない。	1,000 mg/l
アセトン	67-64-1	Algae Other	実験	96 時間	EC50	11,493 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	5.8 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	ニジマス	実験	96 時間	LC50	1.41 mg/l
フェノール樹脂	55185-45-0		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
フェノール	108-95-2	緑藻類	実験	96 時間	EC50	61.1 mg/l
フェノール	108-95-2	ニジマス	実験	96 時間	LC50	5.02 mg/l
フェノール	108-95-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	4.2 mg/l
フェノール	108-95-2	ニジマス	実験	30 日	有効濃度は観察されない。	2 ug/l
フェノール	108-95-2	ミジンコ	実験	11 日	有効濃度は観察されない。	0.5 mg/l

合成ゴム	9003-18-3		分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足している 。			
酸化亜鉛	1314-13-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.2 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	チヌークサー モン	実験	96 時間	LC50	0.23 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	実験	72 時間	有効濃度は観 察されない。	0.021 mg/l
酸化亜鉛	1314-13-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	0.046 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
フェノールホルムアルデヒド樹脂	25085-50-1	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足している 。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
サリチル酸	69-72-7	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素 要求量	88.1 重量%	OECD 301C-MITI(1)
0-クレゾール	95-48-7	実験 生分解性	30 日	生物学的酸素 要求量	80 重量%	OECD 301D - クローズドボトル法
アセトン	67-64-1	推定値 光分解		光分解半減期 (空气中)	80 日 (t 1/2)	別法
アセトン	67-64-1	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	147 日 (t 1/2)	別法
アセトン	67-64-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素 要求量	78 重量%	OECD 301D - クローズドボトル法
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	3.21 日 (t 1/2)	別法
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 光分解		光分解半減期 (水中)	1-2 時間 (t 1/2)	別法
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素 要求量	90 重量%	OECD 301D - クローズドボトル法
フェノール樹脂	55185-45-0	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足している 。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
フェノール	108-95-2	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	1.11 日 (t 1/2)	別法
フェノール	108-95-2	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素 要求量	85 重量%	OECD 301C-MITI(1)
合成ゴム	9003-18-3		該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。				
酸化亜鉛	1314-13-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
フェノールホルムアルデヒド樹脂	25085-50-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
サリチル酸	69-72-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.26	別法
0-クレゾール	95-48-7	実験 BCF-その他		生物濃縮係数	10.7	OECD 305E- 生態濃縮 魚類
アセトン	67-64-1	実験 BCF-その他		生物濃縮係数	0.65	別法
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.35	別法
フェノール樹脂	55185-45-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
フェノール	108-95-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.46	別法
合成ゴム	9003-18-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
酸化亜鉛	1314-13-2	実験 BCF- Carp	56 日	生物濃縮係数	<217	OECD 305E- 生態濃縮 魚類

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1133 接着剤

輸送分類 (IMO)：3 引火性液体類

輸送分類 (IATA)：3 引火性液体類

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

物質及び混合物に適用する安全、健康、環境の法規制

主な法規制物質

成分	安衛法通知政令番号	PRTR政令番号	毒物及び劇物取締法
アセトン	17 (アセトン)	該当なし。	該当なし。
酸化亜鉛	188 (酸化亜鉛)	該当なし。	該当なし。
フェノール	474 (フェノール)	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制 (主な適用法令)

- 労働安全衛生法：施行令別表第6の2有機溶剤
- 労働安全衛生法：施行令18条有害物質 (表示物質)
- 消防法：危険物第4類第1石油類
- 船舶安全法：引火性液体類
- 労働安全衛生法：施行令18条の2 名称等を通知すべき有害物

16. その他の情報

改訂情報

版の改定

セクション1： 情報修正.

免責事項：この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートへの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。

りません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。